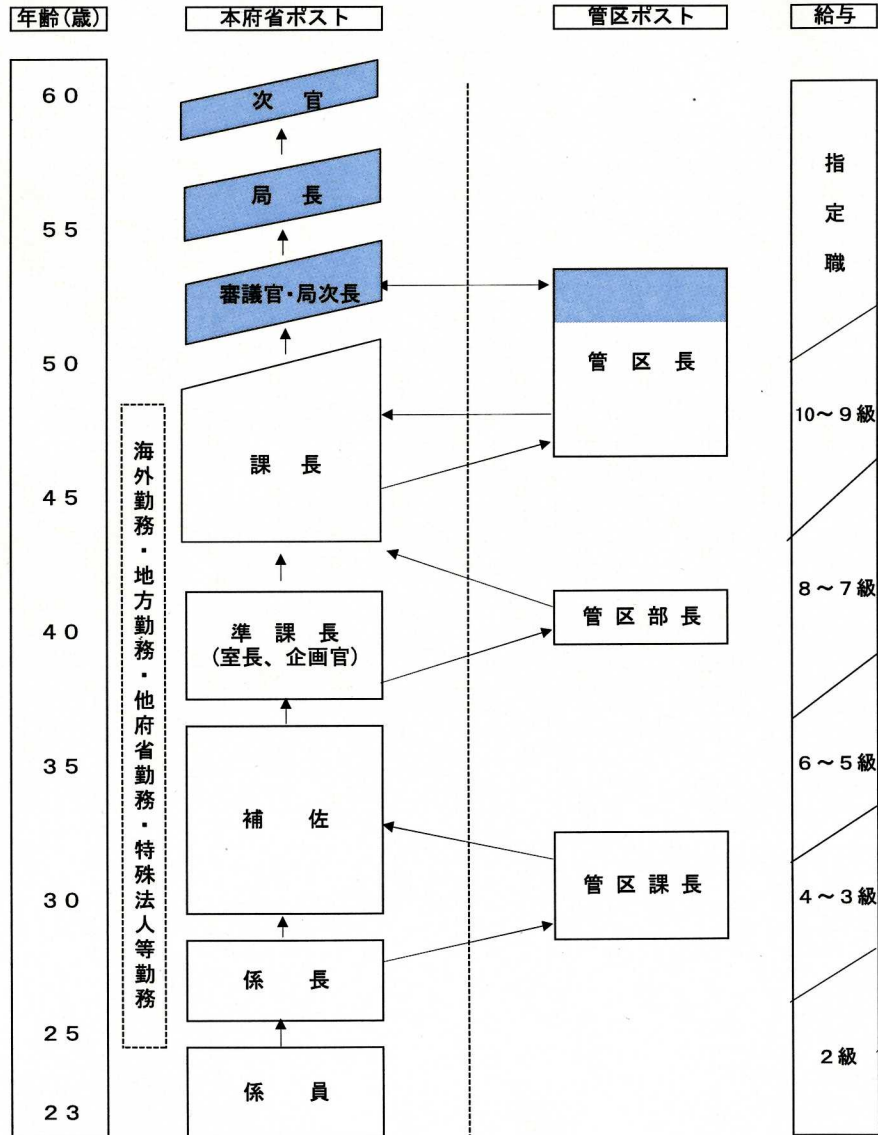


5 キャリア・システムに係る現状

国家公務員の昇進例

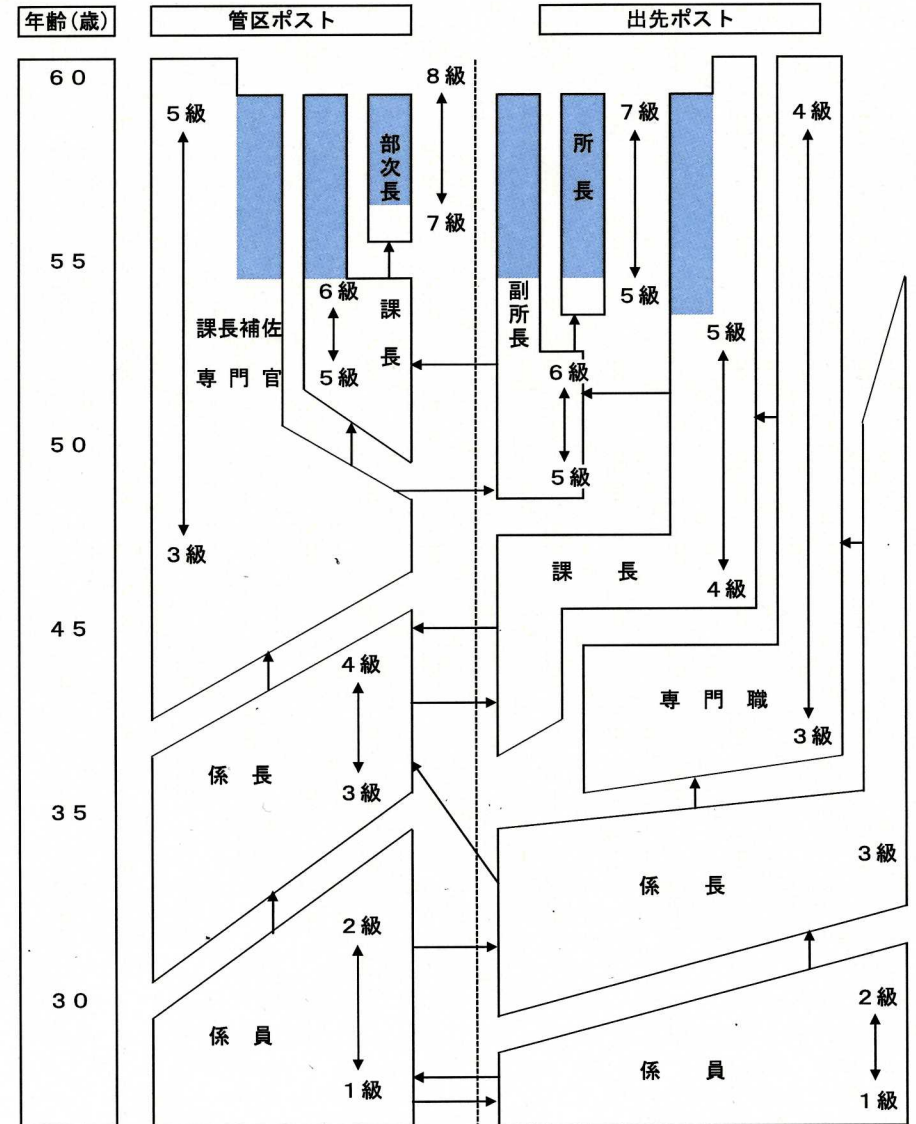
キャリア・システムには制度上の根拠はないが、事実上 I 種職員とそれ以外で大きな差があることが多い

(1) 本府省 I 種採用（事務）昇進モデル



(注) 内は、勸奨退職があることを示す。

(2) 地方採用（I 種以外）昇進モデル＜管内異動＞

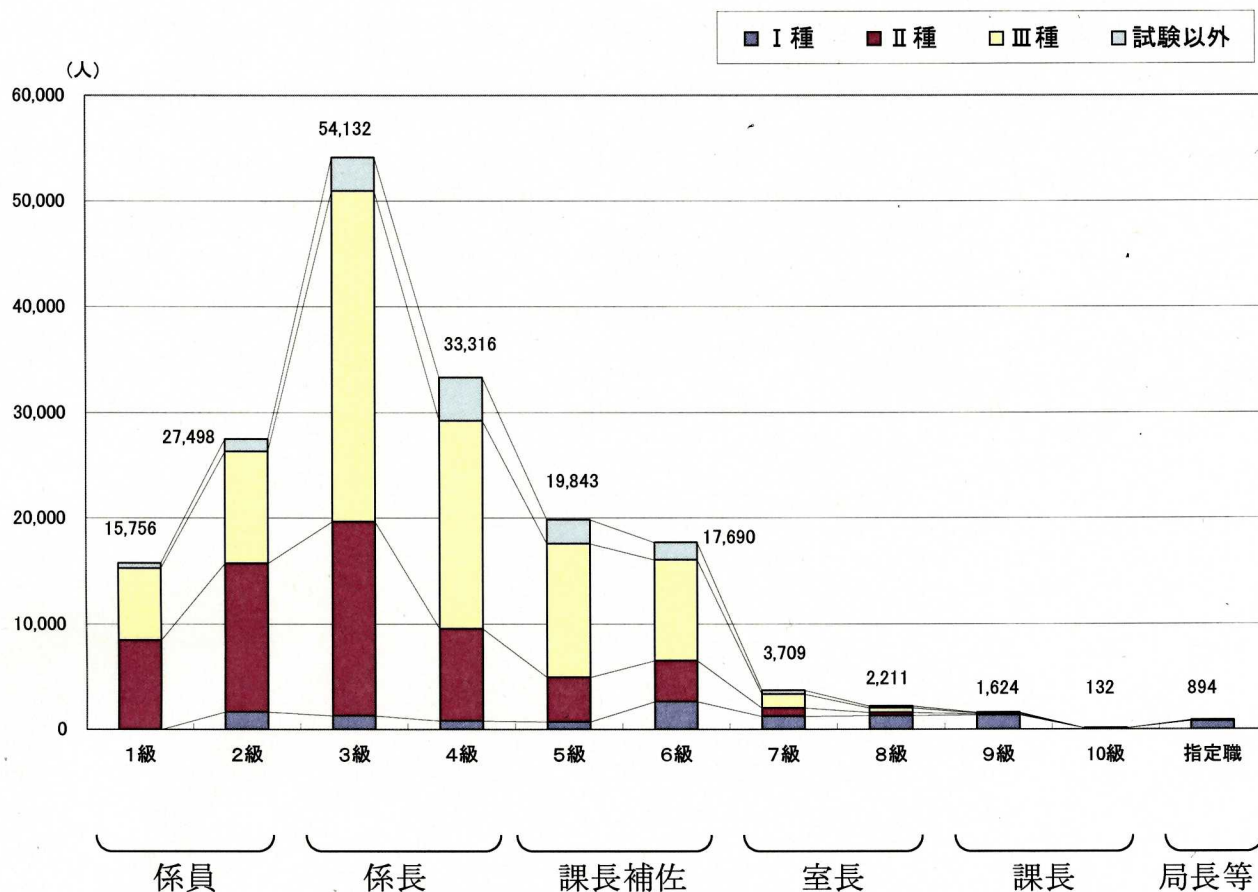


(注) 内は、勸奨退職があることを示す。

採用試験の種類別在職状況

上位級はⅠ種採用者が占める割合が高い

(平成19年1月15日現在)



(注) 職名は本省のものである。

(単位：%)

採用試験等	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	指定職
Ⅰ種	—	6.1	2.4	2.5	3.7	14.9	33.3	59.7	85.3	90.2	88.1
Ⅱ種	53.8	51.1	33.9	26.3	21.3	22.0	21.4	13.4	4.3	0.8	0.7
Ⅲ種	43.2	38.6	57.9	59.0	63.7	53.7	35.9	20.0	5.1	3.8	2.5
試験以外	3.0	4.3	5.8	12.3	11.4	9.3	9.5	6.9	5.2	5.3	8.7

(注) 「Ⅰ種」、「Ⅱ種」、「Ⅲ種」には、それぞれ相当する試験を含む。

(出典) 平成18年度における一般職の国家公務員の任用状況調査報告 (人事院)